

授業科目	基礎看護学実習 I (療養環境の理解・日常生活の援助)	単位	1	時間	90	履修時期	1年次 1学期～2学期
学習目標	1. 療養環境および病院の構造・病床環境や看護体制・看護の役割の実際を知る 2. これまで学習した知識や基本的な看護技術を統合しながら、対象の個別性に合わせた日常生活の援助を実践する						
授業内容 (講義)の内容	<b>【基礎看護学実習 I-1】</b> 1. 病院の役割と機能、概要 2. 病棟の概要 3. 入院患者の療養環境 4. 医療チームにおける看護師の活動の実際 5. 患者とのコミュニケーション  <b>【基礎看護学実習 I-2】</b> 1. 日常生活行動の状況の把握 2. 日常生活の援助の必要性の判断 3. 目的・効果を考えた援助計画の立案 4. 看護技術の基本的構成要素 (ボディメカニクス、作業効率と作業の組立、清潔と不潔、経済性、安全性、個別性、反応の観察と対応、説明) をふまえた援助の実施 5. 実施した援助についての評価 6. 援助計画の修正					担当者 (時間)	
						米子医療センター  米子医療センター 松江医療センター	
評価	基礎看護学実習 I 評価表に従い、実習目標への到達度、実習状況 (出席状況・実習態度)、実習記録物の提出等について総合的に評価する。						
備考	実習までに学習した専門知識や基本的な看護技術をしっかり復習し、積極的に実習に取り組んでください。 体験内容の言語化を通して、学習内容の理解を深め、実践と理論を統合していきましょう。 実習期間中1日も欠席することのないように、体調管理をしっかり行ってください。						

授業科目	基礎看護学実習Ⅱ (看護過程の展開)	単位	2	時間	90	履修時期	1年次 2学期
学習目標	看護の対象を身体的・精神的・社会的存在として理解し、入院状況下にある人々の健康問題(看護上の問題)を解決するための看護過程の展開技術を学ぶ						
授業内容(講義)との内容	<p>看護診断を用いた看護過程の展開</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報収集</li> <li>2. 情報の整理と解釈</li> <li>3. 看護問題の明確化</li> <li>4. 看護目標の設定(長期目標・短期目標)</li> <li>5. 看護計画の立案</li> <li>6. 看護計画にもとづく実践、および実践の評価</li> <li>7. 看護計画の修正</li> </ol> <p>※患者を総合的に理解し、援助を必要とすることがらを判断して、個別的・計画的な看護を行う。 必要と考えた援助の優先順位を考え、看護目標を設定して具体的な計画を立てる。 実践は実習指導者・教員の助言、指導のもと行う。</p>					担当者(時間)	米子医療センター 松江医療センター
評価	基礎看護学実習Ⅱ評価表に従い、実習目標への到達度、実習状況(出席状況・実習態度)、実習記録物の提出等について総合的に評価する						
備考	<p>体験内容の言語化を通して、学習内容の理解を深め、実践と理論を統合していきましょう。 学習した内容が統合・活用できるように、実技演習した基本的技術をさまざまな条件をもった対象を想定して応用できるように練習しておきましょう。 3週間にわたる実習なので特に体調管理に心がけてください。</p>						

授業科目	地域・在宅看護論実習 I (地域で暮らす人の理解)	単位	1	時間	45	履修時期	1 年次 1 学期
学習目標	地域の暮らしと生活の場を知り、地域で暮らす人について理解する						
授業内容(講義)ことの内容)	<p>1. 米子市の地域特性、健康支援についてフィールドワークを通して地域の実際を理解する。</p> <p>1) 地域広報誌を活用した実態調査ワーク</p> <p>2) 地域の町内会活動への参加型ワーク</p> <p>3) 地域の NPO 活動マップづくりワーク</p> <p>4) 集合住宅の自治会活動参加型ワーク</p> <p>5) ユニバーサルな施設、インフォーマルサービス</p>					<p>担当者(時間)</p> <p>米子市内各施設</p>	
評価	実習目標への到達度、実習状況(出席状況・実習態度)、実習記録物の提出等について総合的に評価する。						
備考	複数教員で対応する						